

主役じゃないけど
すごいんです。

最初に触れるそれが神菱の製品



神菱の3つのキーワード



ジャストフィットな
ものづくりで
世界で勝てる集団を目指す

代表取締役社長
寺前 英樹

MESSAGE メッセージ

当社は、1951年の創業以来、自動車部品やガス機器用部品の開発・製造を行ってまいりました。ダイハツグループで唯一の機能部品メーカーであり、あらゆるダイハツ車に当社のシフトレバー、ドアハンドルが採用されています。

当社の強みは、市場調査から製造まで社内一貫で行う生産体制にあります。社員一人ひとりが考え創意工夫する企画提案力、蓄積した高度な技術力を注ぎ込み、コンパクトな工場で樹脂成形・鋳造から組み立てまで、無駄のない生産工程で高品質かつ低価格な製品を量産しています。また海外展開として、日本以外に東南アジアに拠点をもち、各国の市場に求められる最適な製品を提供しています。

近年、自動車業界では電動化への動きが加速しています。当社では電動化に見合った部品の軽量化や低コスト化に取り組み、機能部品メーカーとしてできる提案・対応を進めています。時代やニーズに即した部品づくりで、自動車業界の発展に貢献することが当社の大きな使命だと考えています。

これからも、当社独自の技術を磨き、お客様の望まれる価値にジャストフィットする製品を提供してまいります。世界で戦い、勝てる集団、世界に無くてはならない集団となるよう、精進し続けていきます。

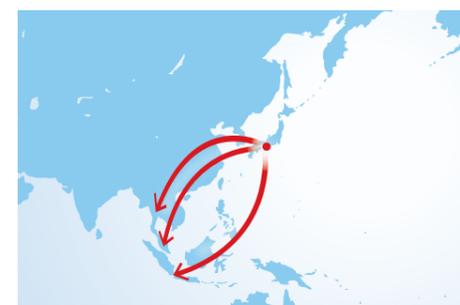


1 ダイハツグループで唯一機能部品を開発／生産

神菱が手掛ける主力製品は、自動車の「走る」「曲がる」「止まる」といった、自動車の重要な基本性能を支える「機能部品」。ダイハツ工業株式会社のグループ会社で唯一の機能部品メーカーとして、シフトレバーやドアハンドル、エンジン部品が採用されています。

2 社内一貫生産で面白いものづくりを追求

神菱は、市場調査から製造まで自社で一貫生産を行う「ものづくり企業」。従来の考え方にとらわれない企画力、1mmも妥協しない技術力を注いで、あっと驚くような面白いものを作りたい。それが、1951年の創業以来、自動車一般大衆化される前から現在に至るまで、自動車の成長と発展を支えてきた機能部品メーカーとしての信念です。



3 播磨発、世界へ国内外へ届ける高品質な神菱製品

インドネシアに子会社を設立し、現地工場でも製品を生産。自動車の機能部品と2本柱で製造しているガス器具部品も、国内外の数多くのメーカーから採用されています。兵庫県播磨から世界に向けて、高品質な神菱製品をお届けしています。

HISTORY 沿革

1950年代

1951年
神菱電機製作所として、三輪自動車用スイッチの生産開始
1957年
神菱電機製造株式会社に改組、新工場を池田市に建設

1960年代

1965年
ガス機器用点火装置、ガスコック開発
1966年
小野市に新工場を建設、ガスコック生産開始

1970年代

1978年
樹脂製ドアハンドル生産開始
1979年
ダイカスト工場を増設

1980年代

1983年
業務用LPG調整器生産開始

1990年代

1990年
高知県宿毛市に四国工場を建設(後の株式会社キャンビンとなる)



1992年
社名を「株式会社神菱」に変更、小野匠台工業団地に新工場建設、インドネシアで合併会社キャンビンド設立



1993年
アルミダイカスト製フューエルデリバリパイプ生産開始

1997年
四国工場を(株)キャンビンに分社化

1998年
大型鋳造機(800t)導入(アルミダイカスト大型化)

2000年代

2001年
ISO9001認証取得(小野本社工場、加西工場)

2002年
ISO14001認証取得(小野本社工場、加西工場)

2010年代

2010年
ダイハツ工業株式会社の子会社となる
2016年
株式会社キャンビンに四国工場として直轄運営

2018年
小野工場に樹脂成形・組立工場を新設 SIPRO PLASTIC INDUSTRIES SDN BHD (マレーシア)と技術援助契約締結



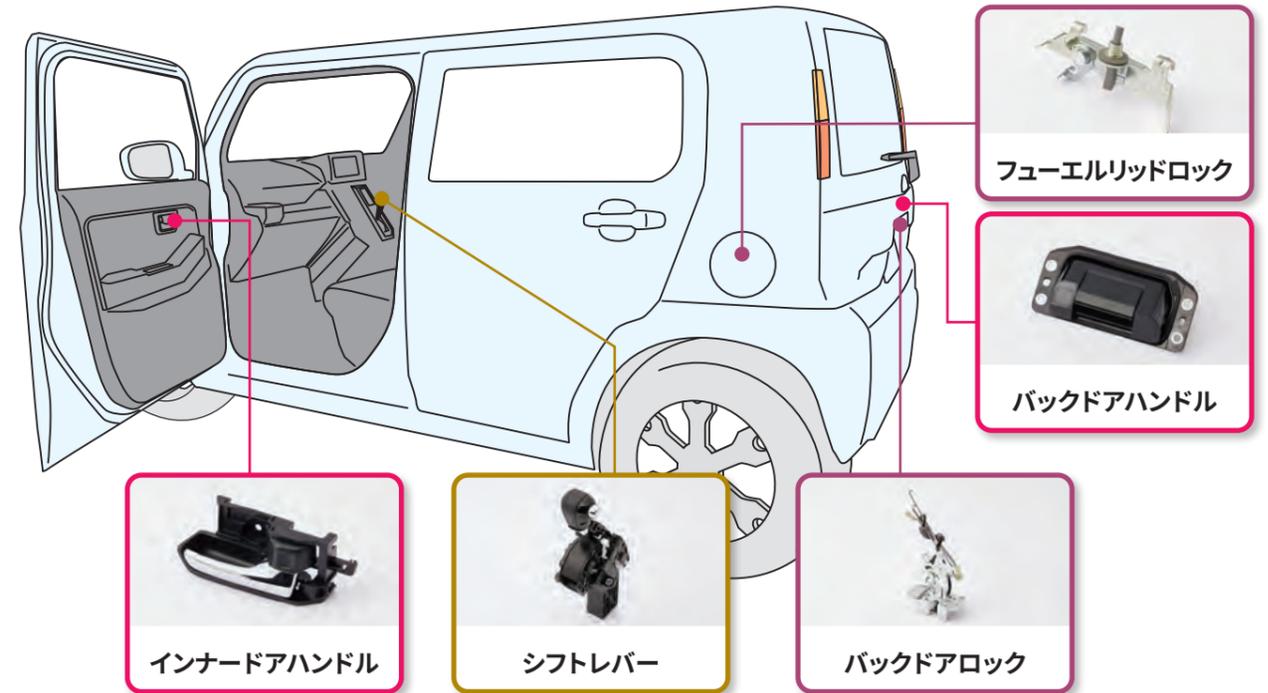
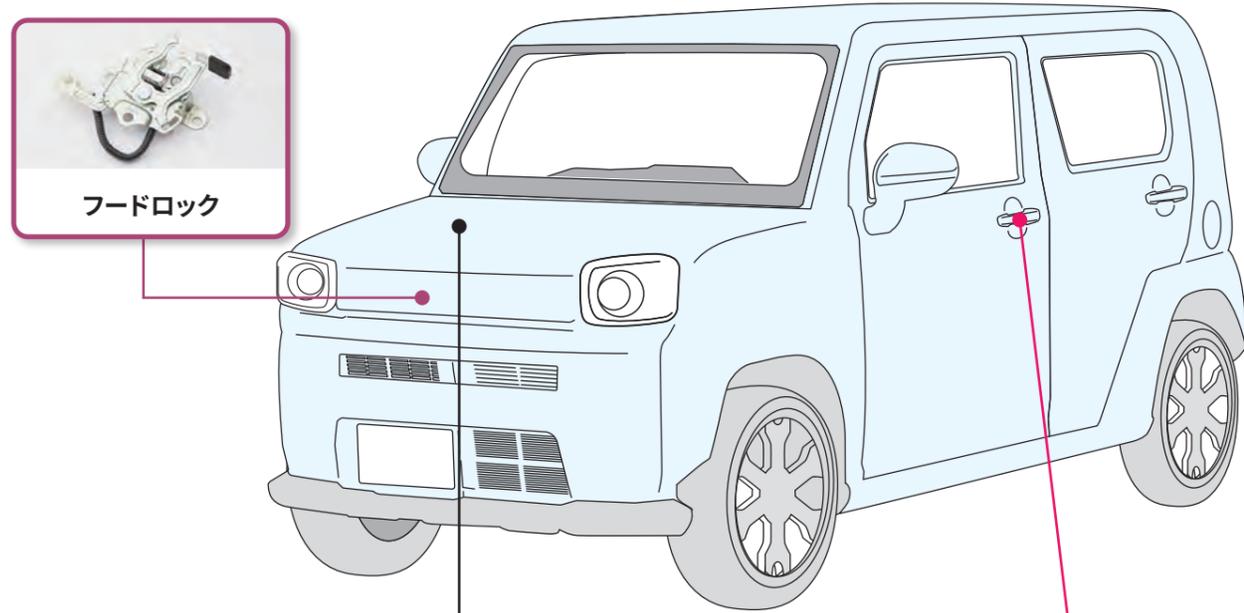
2020年代

2020年
ダイハツ工業株式会社の100%出資子会社となる※
※少数株主分(0.015%)を除く

製品紹介

すべてのダイハツ車に
神菱の機能部品が採用されています

※ OEM製品除く



エンジン部品



ガス調整器・ガス器具部品

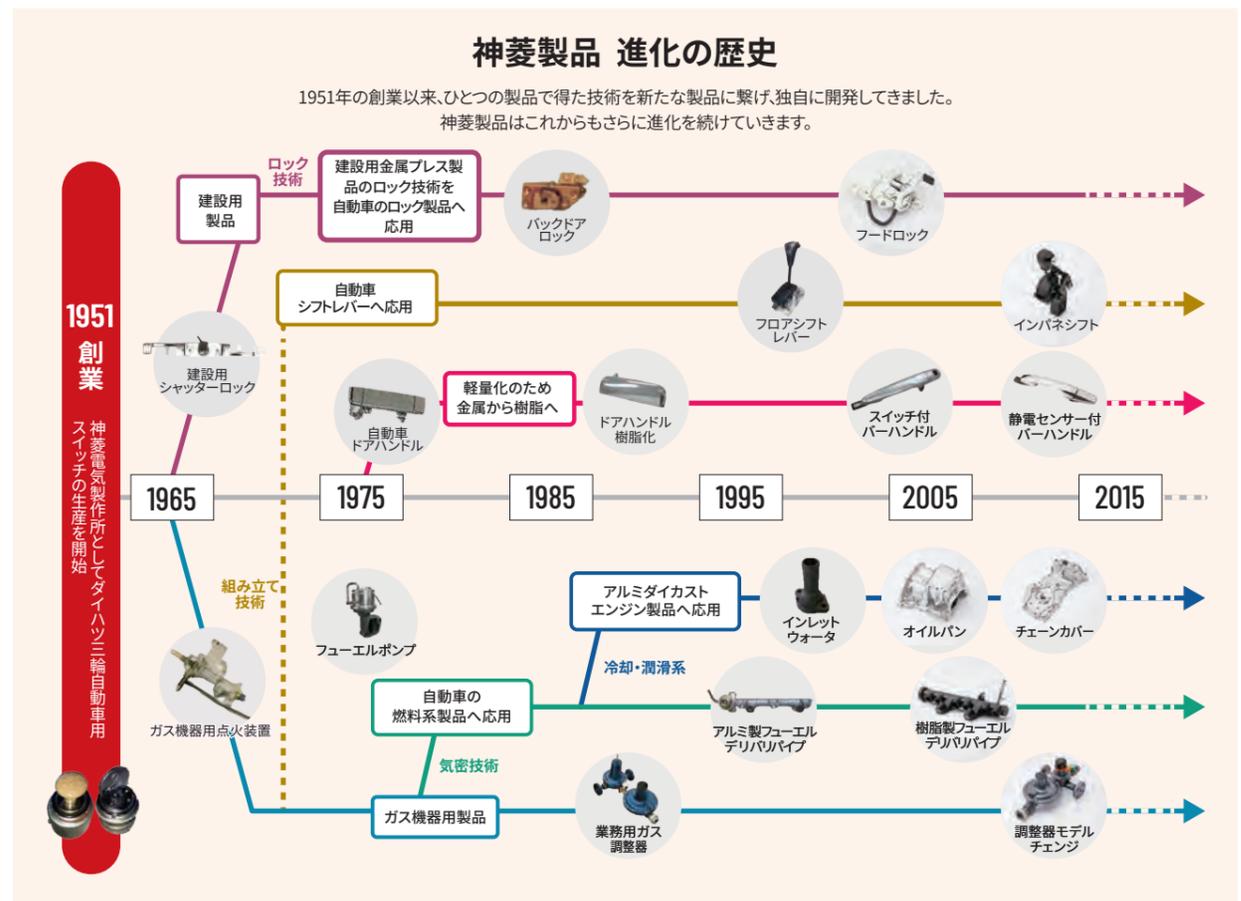
ガス圧力調整器

業務用LPガス供給設備に取り付けられ、高圧LPガスを燃焼可能な圧力に減圧します。

ガスバルブ

湯沸器、ファンヒータ、乾燥機などに取り付けられ、ガスの圧力と流量を制御します。

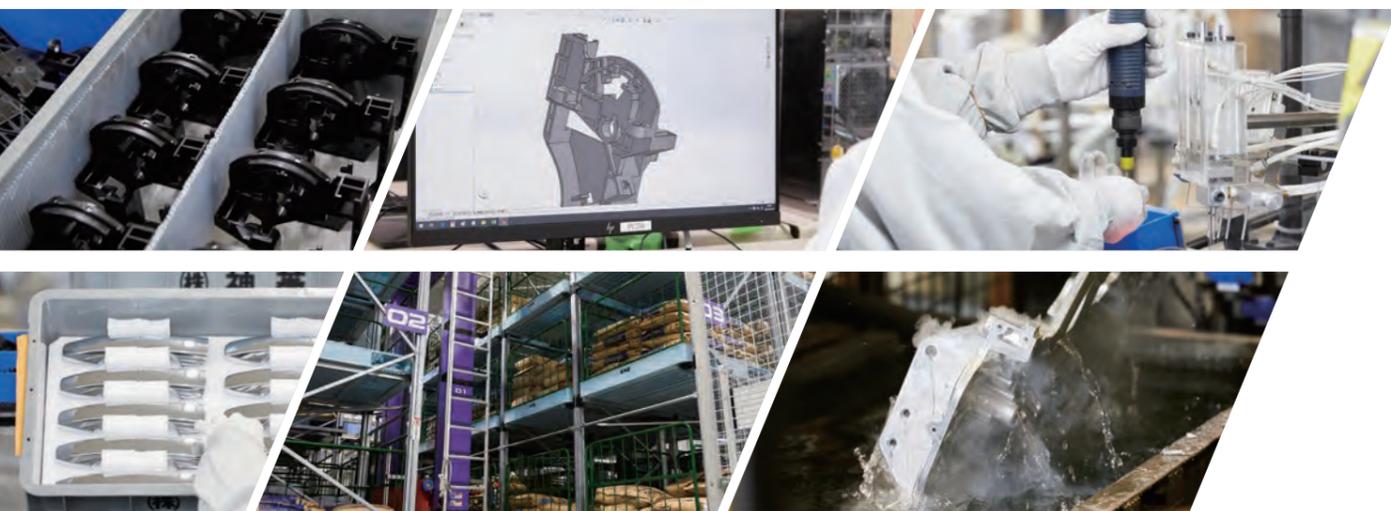
神菱のシフトレバーやドアハンドルなどは、すべてのダイハツ車に採用されています。また神菱では、自動車機能部品とガス調整器・ガス器具部品の製造も行い、世界に向けて多種多様な製品をお届けしています。



生産体制

社内一貫生産で良品廉価
神菱のものづくり

神菱のものづくりは、開発／生産技術／製造量産まで社内一貫体制で行っています。高品質・低価格・短納期を実現するとともに、国内外の各市場のお客様に最適な製品を提案し、神菱独自の製品をお届けしています。



働く環境づくり - 製造工場 -

・安全でクリーンな現場

工場内は歩車分離し、安全を最優先しています。正圧空調により室内は常にクリーン。また、省エネ炉などの省エネ設備を導入し、環境に配慮しています。

・きれいで働きやすい職場

見通しの良い明るく清潔な工場のため、人にやさしい働きやすい職場となっています。2018年に新設した樹脂成形工場は、物流効率、作業効率もより高いつくりになっています。



開発・設計

市場調査

コンパクト最適の機能部品を提供し続けるため、市場やお客様の動向をリサーチします。

製品企画

製品のコンセプトを考え、コンセプトを軸に知恵と工夫を結集し、お客様に十分満足いただける新たな製品を企画します。

製品開発

長年培った技術や経験を活かし、お客様が求める品質、市場での使われ方、機能を考え、構想設計から確認評価まで実施します。



生産技術

生産準備

CAE解析により、樹脂成形・アルミ鋳造の金型方案を設計。品質のつくり込みを行います。鋳造、加工、組立を一貫して生産するため、早期立ち上げが可能です。組立全設備の内製化による自動化を目指しています。

自前保全

設備の性能に不備や不良がないかを点検します。内製のためすぐにリカバリー対応が可能です。



製造（成形・組立／鋳造・加工）

一貫生産

2018年11月に竣工した新工場は、1Fで樹脂成形、2Fで組立を行い出荷します。隣接する鋳造工場と合わせて一貫生産により効率良く完成した製品をお客様のもとへお届けします。

